

# 議会だより

発行／毛呂山町議会  
編集／毛呂山町議会だより編集委員会  
MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



第10回防災訓練（前久保中央公園）

## 9月の定例会

正副議長選挙結果・委員会等人事	2P
平成20年度一般会計決算認定	3～4P
平成20年度特別会計決算認定	5P
平成21年度補正予算	
条例の改正・常任委員会レポート	6P
臨時議会・議案の審議結果	7P
いっぱん質問 11人	8～13P
人事ほか	14P

平成21年10月20日発行

第 66 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

# 9月議会 定例会

## 正副議長決まる

平成21年9月定例議会は、9月1日から24日までの24日間の会期で開催されました。議会初日正副議長の選挙、議会運営委員及び委員会の編成が行われました。今議会の議案は、新規条例1件、条例の一部改正2件、補正予算6件、決算の認定7件、町界町名地番整備事業1件、町道の路線廃止及び認定各1件、請願1件、訴訟の提起1件、人事4件、報告2件、諮問1件、合計28件が上程され、慎重審議をいたしました。なお、新たに導入された一問一答方式による一般質問には11名が登壇し、活発なものとなりました。

## 正副議長選挙結果

### ◆議長

栗田秀彦 12票

藤岡健司 1票

白票 1票

### ◆副議長

宮寺征二 11票

岡野勉 2票

藤岡健司 1票

### 議会運営委員会

議事日程や会期の決定並びに議長の諮問に関する等です。



議長 栗田 秀彦



副議長 宮寺 征二

### 議長就任あいさつ

9月の定例議会に於いて議長と云う大役をお引き受けする事になりました。一年間ご指導とご協力をよろしくお願ひします。

さて、日本経済も昨年のリーマンショックにより大きな混乱を招き社会的に不安が続いています。先般行われた衆議院議員選挙に於いても歴史的な結果となり希望と不安が交差しています。議会としても変化への対応、意識の変化が必要となつてきています。町民と向き合い理解し合える議会運営に努めていきたいと思ひます。

栗田 秀彦

## 常任委員会の構成

### 総務文教

議会、総務、教育、企画政策関連、町税ほか歳入全般です。

委員長 伊藤 和由

副委員長 岡部 和雄

委員 井上 健次

委員 藤岡 健司

委員 菅野 博子

委員 高橋 達夫

委員 堀江 快治

### 生活福祉

福祉全般、生活環境及び水道事業、農業、土木建設並びに各特別会計6事業です。

委員長 下田 一甫

副委員長 川上 伸子

委員 宮寺 征二

委員 岡野 勉

委員 小峰 明雄

委員 栗田 秀彦

委員 長瀬 衛

### 議会だより編集委員会

委員長 井上 健次

副委員長 宮寺 征二

委員 藤岡 健司

委員 下田 一甫

委員 岡野 勉

委員 川上 伸子

平成20年度  
決算

2008

# 一般会計決算を認定

一般会計決算	区 分	金 額
	歳 入 総 額	92億600万円 (前年度比7%増)
	歳 出 総 額	83億9,316万円 (前年度比0.2%減)
	歳入歳出差引額	8億1,283万円 (※うち繰越明許費6億3,940万円)
	実 質 収 支 額	1億7,343万円

※繰越明許費の内訳は、定額給付金事業・子そだて応援特別手当事業など

## ●歳入内訳

(単位：千円)

科 目	区 分	決算額
町 税		3,974,379
地 方 譲 与 税		118,048
利 子 割 交 付 金		17,769
配 当 割 交 付 金		7,016
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		2,418
地 方 消 費 税 交 付 金		297,667
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		83,596
自 動 車 取 得 税 交 付 金		81,704
地 方 特 例 交 付 金		57,672
地 方 交 付 税		1,484,616
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		6,153
分 担 金 及 び 負 担 金		136,877
使 用 料 及 び 手 数 料		66,205
国 庫 支 出 金		1,135,386
県 支 出 金		493,620
財 産 収 入		23,265
寄 附 金		278
繰 入 金		433,955
繰 越 金		196,742
諸 収 入		96,165
町 債		492,469
合 計		9,206,000

## ●歳出内訳

(単位：千円)

科 目	区 分	決算額
議 会 費		100,034
総 務 費		1,321,850
民 生 費		2,381,017
衛 生 費		770,451
労 働 費		30,032
農 林 水 産 業 費		137,743
商 工 費		37,350
土 木 費		1,016,181
消 防 費		566,924
教 育 費		963,586
災 害 復 旧 費		0
公 債 費		750,156
諸 支 出 金		317,842
予 備 費		0
合 計		8,393,166



(賛成多数認定)

## 20年度主な事業

- 町社会福祉協議会補助金
- 後期高齢者医療療養給付費負担金
- 老人福祉センター管理運営委託料
- 町道維持・新設改良事業
- 東武越生線バリアフリー化事業負担金
- 教科指導支援員賃金
- 小・中学校施設整備工事
- 長瀬駅前野久保線整備事業

# 一般会計決算認定討論

## 反対討論3議員・賛成討論なし

### ◎決算にあたり

20年度決算を振り返ってみると、定額給付金事業や子そだて応援特別手当事業など、翌年度への繰越財源が6億4千万円ほど発生したことが例年と異なる点であった。実質公債費比率や将来負担比率など、財政健全化の判断比率は十分に健全状況を示しているが、経常収支比率は他の市町村同様、厳しい状況である。今後の改善が望まれる。

討論とは議題に対して自己の賛成反対の意見を表明する事で「討論1人1回」の原則がある

## 反対討論

### 藤岡 健司 議員

町の給与所得者の平均年収は、10年連続で減っている。それに引き替え、住民税の定率減税が廃止され、介護保険料、医療費の値上げ、国保の値上げなどが続いた。こうしたことで、増税が家計を直撃している。

多くの町民の収入が減っている時に、もう少しくらしと福祉に予算をまわして頂きたい。また、労働システムもアルバイト・パート・派遣社員や請け負い労働等の導入で、ワーキングプアと呼ばれる低賃金で社会保障もない無権利な若年労働者の急増が社会問題化している。都市計画道路街路事業は、あまりにも町の財政に占める割合が大きすぎる。

20年度には、長瀬駅の自由通路の設計業務委託料、そして、21年度には、橋上駅舎の設計へと引き継がれて行きます。これを町としてこのまま進めていいのだろうかという疑問が残る。

### 岡野 勉 議員

「住民参加・協働のまちづくり」の視点で本決算を総括する。結論から言うと「住民の力」を活かし切れていない。10月から始まる「町内循環バス」も職員による検討委員会止まりで、肝心の町民・利用者が入っていない。当然、住民の声や情報公開も不十分な中で決められている。女性会議も「役割を終えた」というが、女性の社会進出、賃金格差は歴然で、日本は男女平等では後進国にある。

臨時保育士の賃金（月額18万円）、臨時職員の最低賃金の後追い状態など改善が必至。また、小中校舎の耐震化を「前倒し」で進めるべき。生活道路の維持・新設改良予算が圧倒的に不足し、住民はデコボコ道で「不便・苦痛」を強いられている。川角駅などバランスある開発と長瀬駅の橋上駅舎など住民合意は取れていない。

### 長瀬 衛 議員

20年度一般会計 歳入歳出決算認定

次の理由で反対する。

職務に精励する職員の皆様には敬意を表する。保育園建設は直近の未就学人口推計もせず箱ものありきだ。幼保一元化へ十分な議論を求める。市民農園開設が課題であり、農産物加工センターの利用状況は設置目的を逸脱している。団地内等の生活道路整備の進捗に不満を持つ。市街地のバリアフリー化は早急な課題である。幹線県道整備において新飯能寄居線は漸く完成間近となったが、東西路線に主体的ビジョンがない。野久保線事業では複線化の見通しもなく、設計費3千6百万円、工事費8億円と巨額を擁する自由通路・橋上駅や坪当たり90万円の補償費に今後、8億円が予定されている。費用対効果が極めて疑わしく、極度の過剰投資である。貴重な税を住民の立場でどう使うかという政治の原点に立つべきだ。

# 平成二十年度

# 特別会計決算

## 国民健康保険

一般被保険者  
年間平均被保険者数  
1万372人  
療養の給付  
1人当り費用額  
26万3242円

決算額は、歳入総額

42億2219万円。歳出総額38億4464万円です。

保険事業費については、疾病予防施策を推進するため、916万円を支出しました。

主な事業として、人間ドック及び保養所利用者に補助金を交付しました。

(賛成多数認定)

## 老人保健

3月診療分をもって後期高齢者(長寿)医療制度に変わりました。

決算額は、歳入総額3億



177万円。歳出総額2億9088万円です。  
主な事業として、3月診療分及び月遅れ請求分について医療給付を実施しました。

(賛成多数認定)

## 介護保険

第1号被保険者  
7909人  
介護認定者  
943人

決算額は、歳入総額

13億8416万円。歳出総額13億2157万円です。

主な事業は、被保険者の資格管理、保険料の賦課徴収、要介護認定、及び保険給付の事務を行った。

(賛成多数認定)

## 後期高齢者医療

被保険者数  
3070人  
1人当りの年間保険料  
5万7801円

決算額は、歳入総額2億2861万円。歳出総額2億2401万円です。

主な事業として、保険証の引渡し、各種申請の受付、保険料の徴収業務に努めました。

(賛成多数認定)

## 農業集落排水

生活環境の整備と河川や用排水路などの水環境の保全を目的とした事業

決算額は、歳入総額2764万円。歳出総額2371万円です。

(全員賛成認定)

## 水道事業

給水戸数  
1万4855戸  
給水人口  
3万6891人

事業収益の決算額は、8億8024万円。

# 平成21年度 補正予算

事業費用の決算額は、7億7830万円です。

(賛成多数認定)

## 一般会計

一般会計  
補正予算  
は、歳入歳出それぞれ1億3771万円を追加し、予算総額を8億7087万円としました。

(賛成多数可決)

## 老人保健

老人保健特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ685万円追加し、総額を2730万円としました。

(全員賛成可決)

## 農業集落排水事業

農業集落排水事業特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ183万円を追加し、総額を2962万円としました。

(全員賛成可決)

## 介護保険

介護保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ5966万円追加、総額を15億8763万円としました。

(全員賛成可決)

## 後期高齢者医療

歳入歳出それぞれ270万円減額し、総額を2億4585万円としました。

(全員賛成可決)

## 国民健康保険

国民健康保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億933万円追加し、予算総額を42億122万円としました。

(全員賛成可決)

# 条例の改正など

## 毛呂山町 企業誘致促進条例

町内に事業所を設置する企業に対し、優遇措置を講ずることにより、企業誘致の促進を図り、産業の振興による活力ある町づくりに寄与することを目的とした条例。

### 質疑

- 問** 企業は本社でなく、工場、事業所のみでもよいか。
- 答** 条例に定める規模以上の事業所。
- 問** 優遇措置を10年と定めた理由は。
- 答** 先行する自治体が3年から5年と定めているため、有利になる条件とした。  
(賛成多数可決)

## 毛呂山町学童保育所の設置及び管理に関する条例

新設される泉野学童保育所の名称と位置と定員を条例に追加する。

(全員賛成可決)

## 毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正

平成21年10月1日から、平成23年3月31日まで、出産一時金を35万円から39万円に引き上げる。

### 質疑

- 問** 4万円あがったが4万円の内容は。
- 答** 2万円は国庫補助、残りの $\frac{2}{3}$ は地方財政措置(地方交付税)、 $\frac{1}{3}$ は保険料負担となる。  
(全員賛成可決)

◇町の区域を新たに画し変更することについて

町界町名地番整理事業

井東地区を実施

(全員賛成可決)

◇町道の路線の廃止・認定について (全員賛成可決)

◇訴訟の提起について

町税の滞納者が、消費者金融と取引をしていましたが、利息制限法に基づく利息を超えていた取引だったため、法律に基づいた利息で計算したところ過払金が発生していたことが判明。町では、滞納者が有する過払金支払請求権を差し押さえました。消費者金融は再三の催告にも応じず支払わないため、消費者金融に対して過払金元本及び年5分の割合で利息分の支払いを求める訴訟を提起するものです。  
(全員賛成可決)

請願

早期に「信号機」の設置を求める請願

(継続審査)

## 常任委員会レポート

### 生活福祉常任委員会

平成20年度一般会計決算認定のうち、歳出の部民生費・衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費、特別会計決算認定(国民健康保険・水道事業・老人保健・介護保険・農業集落排水事業・後期高齢者医療)、町道の路線の廃止・認定、条例1件及び請願について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



道路改良事業(滝ノ入地内)

### 総務文教常任委員会

平成20年度一般会計決算認定のうち、歳入の部全部及び歳出の部議会費・総務費・消防費・教育費・公債費・諸支出金・予備費及び条例1件について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



長瀬駅北側駅前広場

# 臨時議会 7月21日 補正予算1億3300万円

国からの地域活性化・経済危機対策臨時交付金の審議。

国による14兆7000億円の補正予算の成立に伴い、町も1億3300万円の補正予算が計上されました。

## 補正予算の主なもの

- 1 自動車の購入
    - (1) 公用車 (町長・議長・副町長・教育長)
      - エステイマハイブリッド ……572万円
      - シビックハイブリッド ……356万円
    - (2) インサイト 3台 ……797万円
    - (3) 軽自動車 2台 ……245万円
  - 2 中央公民館改修工事
    - (南面のガラスブロックをサッシに変更) ……419万円
  - 3 公共施設トイレ整備
    - (109箇所のトイレに自動手洗い機設置) ……666万円
  - 4 福祉会館修繕工事
    - (ブラインドの修繕・軒裏塗装修繕) ……81万円
  - 5 小中学校修繕工事11件 ……5101万円
  - 6 消防設備整備
    - (第1分団車庫) ……1977万円
  - 7 デイサービスセンター備品購入
    - (リフトカー入替・機械浴槽入替) ……1041万円
  - 8 ペレットストーブ購入
    - 4台 (あいあい園・デイサービスセンター・中央公民館・東公民館) ……195万円
  - 9 学校図書等整備
    - (学習指導要領改訂備品充当理科備品購入) ……636万円
  - 10 学校情報通信技術環境整備
    - (デジタルテレビとパソコン購入) ……2996万円
  - 11 鎌北湖スワンボート4隻の購入と使えなくなったボートの処分 ……400万円
- (賛成多数可決)

### 議案の審議結果

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議案	議員名 (期数順)											審議結果			
	宮寺征一	井上健次	藤岡健司	下田一甫	岡野勉	川上伸子	伊藤和由	菅野博子	小峰明雄	高橋達夫	栗田秀彦	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	

#### 7月臨時会

46 平成21年度毛呂山町一般会計補正予算 (第2号)	○	○	×	討	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
-----------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

#### 9月定例会

47 毛呂山町企業誘致促進条例	○	○	×	討	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
48 毛呂山町学童保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
49 毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
50 平成21年度毛呂山町一般会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	議	×	討	○	可決
51 平成21年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
52 平成21年度毛呂山町老人保健特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
53 平成21年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
54 平成21年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
55 平成21年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
56 平成20年度毛呂山町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	×	討	×	討	○	○	○	○	議	×	討	○	認定
57 平成20年度毛呂山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	討	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
58 平成20年度毛呂山町水道事業決算認定	○	○	×	討	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
59 平成20年度毛呂山町老人保健特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
60 平成20年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
61 平成20年度毛呂山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	討	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
62 平成20年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	討	×	討	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
63 町の区域を新たに画することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
64 町道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
65 町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
66 訴訟の提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
67 副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
68 固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
69 固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
70 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意

# いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

## 質問議員と質問事項

- 宮寺征二議員** ① 長瀬地内の西田耕地農業用水路敷き
- 岡野 勉議員** ① 公共施設の耐震化対策  
② 介護保険の充実に向けて  
③ 河川の水質浄化  
④ 町内循環バス
- 井上健次議員** ① 防災力  
② 教育施設の耐震化率  
③ 町へのアクセス道路は  
④ エコ事業ゴミ減
- 藤岡健司議員** ① 教育  
② 介護  
③ 地球温暖化と環境
- 川上伸子議員** ① ヒブワクチン接種  
② 「高額医療・高額介護合算療養費制度」
- 菅野博子議員** ① 防災  
② 人に優しいまちづくり
- 長瀬 衛議員** ① 町の課題
- 小峰明雄議員** ① 教育・子育て環境の充実  
② 循環型社会  
③ 新型インフルエンザ
- 下田一甫議員** ① 魅力ある町作りの一つとして問う
- 堀江快治議員** ① 教育問題  
② 都市計画事業
- 高橋達夫議員** ① 衆議院選後の町政運営  
② 町の観光施策

※内容については、各人の原稿をもとに質問順で掲載しました。質問順は抽選により決定されます。

## 現況水路は民地、 反対側に水路敷地

### 来年の水田作業前に用水路工事を

宮寺 征二 議員

「長瀬字西田地区内の農業用水路敷」

本年4月の日曜日、西田耕地の耕作者10数名で掘り浚いを実施しました。4月の下旬には苗代作りを始めるためです。

八高線を跨ぎ通称「シゲドの池」のすぐ南、長瀬字西田10

0番地西側の昔からありました水路を浚っていました所、100

番地で農作業をしてきた人が、私達に向かい「今皆さんが浚っている所は水路敷では無いですよ

ね。水路敷は反対側つまり東側に町の杭がありますよね」といつて後は何も言いませんでした。

つまり私達が掘り浚いしていた所は民地で、その土地の反対側に水路敷があり、町杭が打つてあると云うのです。

役場で調べた結果、地籍調査の時、水路敷を変更したのではないかと云うことになりました。次の点について質問します。

**問** 地籍調査の時、所有者の承諾又付近所有者の了解は得ての変更か。

**答** 地籍調査は地籍図・地籍簿を20日間の閲覧に供してから登記しているので関係者の了解は得ている。

**問** 地籍調査の登記後37年間も

工事をしなかった理由は。  
**答** 所有者、地区等から工事の要望もなく、町では把握していなかった。

**問** 西田100番地を通っている水路は大切な幹線水路であり、来年の水田農作業が始まる前までに変更工事を完成してもらえるのか。

**答** 民地を水路としているのは町として好ましくなく、所有者にも迷惑をかけている。関係地権者等に説明し、来年の水田作業の開始前に用水路工事を実施したい。



はばぐい  
巾杭のない水路敷（長瀬字西田）



耐震化で安心安全な学校生活を!! (毛呂山小学校)

## 耐震補強工事の 前倒しを!

校舎は1年前倒し、  
体育館は2年前倒しで努力する

岡野 勉 議員

**問** 小中学校舎・体育館の耐震化対策ですが、まず町長の『決意と構え』をお聞きする。

**答** 「安心・安全な町づくり」のため、また、子ども達が安心して学べる学校にしていいため計画

的な耐震補強工事を「前倒し」してでも行っていきたい。

**問** 次に、具体的な耐震補強工事の計画だが校舎と体育館は、子ども達の「いのち」の問題であり計画の前倒しをお願いする。完全に工事が完了する年度は。

**答** 耐震工事は、県内一番低い

ついでには、その後実施されていない状況です。

**問** 本町では町内全戸に地震ハザードマップを配布しているが災害時においてどこに避難すればいいのか解らない。各地区ごとに避難場所を解りやすく表示したものはできないか。

**答** 今後、壁に貼っておけるような見やすい避難場所案内を検討していきます。

**問** 本町で毎年行っている防災訓練での役場職員の動きは、災害時を想定したシミュレーションを基にしたものか。

**答** 防災訓練において役場職員

達成率でした。校舎に関しては平成24年度を23年、1年前倒し。体育館は平成27年から2年短縮の25年度までには達成したい。住民総参加でバスの運行を!

**問** 今年10月に町内循環バスがスタートする。しかし、町民に対する情報が不足している。10月のスタートまでどんな取り組みや情報が提供されるのか。バスが走れば「気付く」では、余りにも「無政府的」と思われるが。

**答** 愛称を「もろバス」といい原則月曜日から金曜日の5日間、午前8時30分から午後5時30分の間、4コースに延べ67カ所の停

は、住民への指揮や誘導、非常食の配布等を行っており、これらが災害発生時に役立つ事と考えております。

**問** 全国の自治体では、職員に対して心肺蘇生法の講習を行い、職員全員が心肺蘇生法をマスターしたという話も聞く。本町での心肺蘇生法への見解はどうか。

**答** 災害時に役場職員は中心的に動くものと認識しております。指摘とおり関係機関と連携を図り、一人でも多くの職員が心肺蘇生法を取得できるよう努力する。

## 役場職員に心肺蘇生法を

一人でも多くの職員ができるよう努力する

井上 健次 議員

**問** 平成17年11月に出された埼玉県内における市町村別の防災力では、毛呂山町は65位と不本意な結果だった。

その後の本町防災施策と市町村別防災力はどうか。

**答** 防災力の評価は、部門別に各自自治体を実施した自己評価制

度であり、自主防災組織の組織数が重要な位置づけとなっている。平成17年の結果を踏まえ地域防災計画の見直し、防災マップ、自主防災組織の結成支援、防災資機材や食糧など備蓄品の整備を実施しました。

市町村別防災力の順位付けに



救急救命に一番大事な心肺蘇生法



屋根に設置された太陽光発電（泉野学童保育所）

## 太陽光発電について 助成できないか

### 来年度から予算の範囲内で助成する

藤岡 健司 議員

**問** 太陽光発電について、地域経済への波及効果も期待されることから町でも助成ができないか。

**答** 来年度から予算の範囲内で助成する方向で、進めたい。

**問** 新エネルギーの見直しなど。

**答** 「新エネルギー推進検討委員会」からの提案された廃食油の燃料化も施設を含めた導入について、今後研究して行きたい。

**問** 親の雇用破壊でさまざまな形で子どもの貧困が広がっている。

す。子どもの貧困を町ではどうとらえていますか。

**答** 就学援助としての要保護・準要保護の手続きをすみやかに、親の失職等による生活環境の変化が、直接子どもへの学習環境等の悪化に繋がらないよう努力している。

**問** 就学援助、入学準備金の給付基準・単価を見直すなど拡充する考えは。

**答** 就学援助の認定において所得要件は、生活保護費の1・3倍としている。県内70市町村のうち50市町村がこの基準となっている。県内ほとんどの市町村

で同じ基準で就学援助を行っているのが現状。給付基準、補助単価の見直しによる拡充は難しい状況。

**問** 介護保険について

**答** 4月から導入された介護認定について大幅な見直しが行われるとありますが町はどうだったのか。

**答** 4月から9月までの間は、検証期間として特別に経過措置が施され、更新申請については、前回の介護度を引き継げるため、9割以上の方が経過措置を希望されたため、大きな混乱はありませんでした。

## ヒブワクチン接種に 公費助成を

### 国の動向を把握し、検討

川上 伸子 議員

インフルエンザ菌のb型菌は、頭文字を取り、ヒブと呼ばれる。子どもの細菌性髄膜炎の原因菌は約6割がヒブによるものです。細菌性髄膜炎とは、細菌が脳に感染する重症の感染症で、わが国では毎年600人が重症感染症で発症し、その20〜30人が死

亡し、後遺症を残す子どもが100人以上といわれる。発病しやすい年齢が生後3ヶ月頃から4歳代の乳幼児といわれる。

**問** ヒブワクチンは任意接種だが、費用はいくら位かかるか。

**答** 接種時期は生後2ヶ月から7ヶ月の間で4回接種。一回あ

たり7千円から8千円位。4回の接種で3万円前後の自己負担。

**問** 近隣の状況は。

**答** 埼玉県内では蓮田市が9月から助成を始めると聞く。

**問** 蓮田市の助成金は。

**答** 一回2千円で2回までの4千円を助成。

**問** 現在町内にヒブワクチン接種対象乳幼児は何人位いるか。

**答** 8月31日現在で、1233名いる。

「高額医療・高額介護合算療養費制度」

平成20年4月にこの制度が設け

られました。年額で限度額が設けられ、限度額を超えた分は申請して認められると後から支給されるものです。

**問** 申請条件は。

**答** 7月31日現在で加入している医療保険の世帯単位で、計算期間中に、医療と介護の両方を負担した場合に合算する。なお、入院の際の食事代や差額室料は対象外。また、住民票上同じ世帯であっても加入している健康保険が異なるときは、別世帯となり合算できない。自己負担限度額は世帯員の年齢や所得によって異なる。



乳幼児の命を守るヒブワクチン接種



葛川放水路竣工式

## ゲリラ豪雨、わが町の危険区域、心配される箇所は

### 葛川放水路完成・苦林地域は築堤事業施工中。概ね解消

菅野 博子 議員

防災について

**問** 今年の夏は異常気象の様相で、雨の降り方がゲリラ豪雨といわれるように短時間のうちに予想を超える量の雨が降り、多くの被害をもたらした。8月9日の兵庫県作

用町では1時間に観測史上最大の87・5ミリを記録。川が増水し激流にのみこまれ多くの方が行方不明、遺体で見えされるという痛ましい災害となった。いつわが町、わが身に起こってもし不思議ではない自然災害。わが町は大丈夫でしょうか。

**答** 河川増水による浸水被害を受けていた地域についても堤防工事等が完了したことでは解消。今後も危険区域や危険場所の再確認をしていきたい。山間部については土砂災害の発生のおそれがありますので、土砂災害警戒情報等を確認し、素早い対応ができるよう心がけたい。

**問** 想定外の雨量のシミュレーションしたことは。

**答** どのような被害が発生するか予想することはむずかしい。

**問** 大型団地内に雨水が行き場を失い、団地内で増水することが懸念される箇所は。

**答** 雨水排水設備を施工したことにによりほぼ解消された。

**問** 防災訓練の中で「自分のことは自分で守る」意識の高揚、啓発を図ることも大切。防災グッズの心がけの啓発を。

**答** 啓発コーナーの中で防災グッズの展示を検討していきたい。

**問** 町内循環バス停にベンチを

**問** 公共施設内の停留所に設置を考えると、町のご見解を。

**答** 高齢化社会を迎える状況を踏まえ保健センター等に予定。

**問** J R「第二平山踏み切り」経年劣化。適宜な対応を。

**答** 早急に要望していく。

## 野久保線の推進で後回し？川越坂戸毛呂山線！

### 取りあえず、道路拡幅と交差点整備でなんとかなる

長瀬 衛 議員

**問** 30数年を要し、都市計画道路新飯能寄居線の町区域分が完成間じかである。隣接都市から人や企業を呼び込む為の東西南北2路線の幹線県道整備が町発展には不可欠であるが、東西路線の川越坂戸毛呂山線は坂戸区域まで完成しているものの毛呂山

地域が未完成である。保健センター前を通り、長瀬駅南通り線、新飯能寄居線等と連結予定の同路線ではなく野久保線との関係なのか新川越越生線が優先されている。疑問だ。

二兎追わず、選択と集中が大

事である。将来を見据えたビジョ

ンが感じられない。

**答** 川越坂戸毛呂山線に連結される関越道スマートICが決定されているが、都市計画道の整備には時間がかかる。おろそかにしてはいないが、取り敢えずは、現状の道路拡幅と交差点整備で何とかなる。

**問** ドンブリ勘定の保育行政！

**問** 町の特機児童数と公立保育園の欠員状況は？

また、3～5年後の未就学児の予測はどうなっているのか？

**答** 現時点で特機児童はいない。町立3園の定員は210名で入園児192名。予測は難しく数字

的には示せないが、今後とも減少するものと考えている。

**問** 2箇所目の新保育園建設設計画は将来の予測も立てておらずドンブリ勘定だ。民主党政権では縦割り行政を改め、幼保一元化し「認定子ども園」制度。民間幼稚園が主体となる。

**答** 公立3園でこのまま継続していく。町に見習って民間にも同じような保育をしてもらいたい。

**問** 空き家対策について

**答** 大きな課題だ。対策は？調査し、研究していく。



次の優先順位は川越坂戸毛呂山線

平成20年度学校図書館図書標準

	標準冊数	保有冊数	達成率
毛呂山小学校	9,560	4,963	51.9%
川角小学校	9,160	8,231	89.9%
光山小学校	8,360	7,406	88.6%
泉野小学校	10,960	10,675	97.4%
毛呂山中学校	12,640	10,597	83.8%
川角中学校	11,200	10,160	90.7%

達成率 51.9%の毛呂山小図書館・図書の充実を！

インフルエンザ予防に  
教室に加湿器を

学校医等と相談し前向きに検討

小峰 明雄 議員

**問** 確かな学力を身に付けさせる為の教育内容は。  
**答** 教科指導支援員を交えて少人数学級やチームティーチングを実施し、習熟度別の指導、朝学習や基礎問題の反復練習、宿題による家庭学習等。

**問** 生き方の教育ご見解は。  
**答** 児童生徒一人一人のよりよい人格の形成を目指し、社会の一員として自己実現を図ることのできる児童生徒の育成と、サポートする教育の連携が重要。  
**問** 非行防止活動の現状は。  
**答** 青少年育成町民会議やゆず

の方々によるパトロールを実施。課題はパトロール実施時間帯と人数確保ができない組織がある。  
**問** 学校図書館図書標準の現状。  
**答** 20年度は、小学校4校の合計達成率は82.2%、中学校2校の合計達成率は87.1%、国の標準図書数に達していない為、達成に向け整備、充実に努める。  
**問** 妊婦健康診査の現状と公費助成金の市町村格差、ご見解は。  
**答** 21年度に14回に拡充し妊婦超音波検査1回をすべての妊婦に拡充した。助成額は73820円で県内の49市町村と同額。  
**問** 循環型社会のリデュース・

リユース・リサイクルのスリーアールへの取り組みと課題は。  
**答** 分別回収・資源回収・集団資源回収等で積極的に展開を図りながら、町民及び各自治会のご協力により推し進めている。  
**問** 新型インフルエンザ対策は。  
**答** 坂戸保健所管内の対策連絡会が設置され、感染拡大の防止に向けた取り組みが強化された。  
**問** 新型インフルエンザ予防に全教室に加湿器の設置を。せめて受験を控える中学3年生の教室には設置すべきと考えますが。  
**答** 学校医、保健所等と相談し前向きに検討。

魅力ある町作りの  
一つとして問う

大谷木を魅力ある地域に作っていく

下田 一甫 議員

**問** 大谷木地区の整備された水田の休耕地を利用し、市民農園に活用出来ないか。

これは町に大きな利益をもたらすと考えられ市民農園の目玉にもなると考えますが、考えは。

**答** 地区民に考えを伺ってみる。  
**問** 市民農園は作業後のシャワールームなどの付加価値がないと難しいと言われているが温泉の掘削は考えられないか。こ

**答** 市民農園の開設には主体が町の外幾つかの方法が考えられる。また、未整備、あるいは駐車場、トイレ、水道施設など整備されたものもある。温泉施設

については掘削、施設の建設、維持管理、経費など難しいと考える。  
**問** 総合公園から鎌北湖堰堤に至る山裾を通る道路はハイカーなど多くの歩行者に利用されているが整備、管理不足が目立つ。安心、安全に利用出来るよう整備を。更に緑の募金緑化事業等交付金を利用し、沿道に適当な植栽は出来ないか。  
**答** 今後利用者の安全を第一に計画的に改善をして行く。植栽については地権者や地元、地域の協力をはじめ植栽後の管理など協議する必要がある。花木な

ど植栽出来れば景観的にも最良のハイキング道になると推測出来るので関係者と検討して行く。  
**問** 総合公園、宿谷の滝、鎌北湖のエリアは絶好の地域であり魅力ある観光地、体力作りの場として考えられるが温泉を含めて開発すべき。  
**答** この地域は緑豊かな自然環境に恵まれた地域。温泉の問題は答弁を差し控えるが好条件の地域であり観光協会なども話し合い魅力ある観光地としたい。



これでいいのか「不安な道標」



更なる学力向上を目指して

## 全国統一学力テスト

### 公表が望ましいが諸懸案を検討

堀江 快治 議員

#### 全国統一学力テスト

**問** 町長は、結果の公表を行うべきとの表明をしている。教育委員会の見解は、併せて、公表した場合の効果・課題は。

**答** 公表が望ましいが、国の実施計画を踏まえ再

検討したい。興味本位の評価をさけるべく配慮したい。町民の理解のもと、生徒の学力向上に繋がるよう慎重に進める。

#### 基礎学力日本一への進捗

**問** 基礎学力のカテゴリーは。

**答** 児童、生徒が、生涯生き抜く為の基礎となる力。知識・技

能・理解の根本的資質・能力。

**問** 現状認識と評価基準は。

**答** 本年度の全国統一テストの平均点は、厳しい現状だが、与えられた指導条件を活用し、授業研究会を充実させ、学習の工夫改善につとめる。評価基準としては、当本町が行う、標準学力検査の結果を検証し、学力向上に努める。併せて教科指導支援員、生徒指導支援員の有効活用も必須。

**問** 学校・家庭で、日本一への命題は認知されているのか。

**答** 町学力向上対策委員会を中心に教職員への周知、認知をは

かる。家庭には、充分精査されたリーフレットの配布で、充実した家庭学習の定着をはかる。

**問** 新任された教育長の決意は。

**答** 事務局内部では「報告・連絡・相談」の徹底を掲示、地域学校との連携を基本に据え、併せて学校施設の更なる整備充実に努める。

#### 野久保線事業

**問** 東武鉄道との協議力は充分か。完成後の沿道発展の施策は。

**答** 協議には、発注者として最大の努力をする。沿道については、用途地域の変更と地区計画を検討する。

## 野久保線事業に補助金がこない場合は

### その時点で腹を括る

高橋 達夫 議員

**問** 政権が交代した事により全国の首長が頭を抱えている、町長の心境は。

**答** 地方を預かる首長としてはあまり急激な変化は望まないとと思う。民主党政権には軟着陸の施策を望んでいる。

**問** 民主党のマニフェストには

公共事業について川辺川ダム、八ツ場ダムは中止、道路整備は費用対効果を厳密にチェックした上で必要な道路だけ造るとある。野久保線については費用対効果の面で常に議会で反対の議論もある。この事業は町長が政治生命を賭けると言う事業だ

が、国からの補助金が来ない場合どうするのか。

**答** 補助金が来ないと言う想定はしていない。もしそのような事が起きたら、その時点で腹を括る所存だ。

#### 町の観光施策について

**問** 毎年観光費として町は700万円以上の予算を使っているがその経済的効果は。

**答** 町内で購入できる物は積極的に町内業者者を利用し、その金額の90%以上を町内業者に支払っている。

**問** 3月当初予算で1艘、7月の補正予算で4艘のスワンポー

トを買っているが観光協会からの要望があったのか。

**答** 鎌北湖で遊ぶ人を増やすため町の判断で購入した。ボートは町の所有である。

#### 町の財産であるボートを観光協会に無償で貸していると言う事か。

**答** 観光協会に無償で使ってもらっている。

**問** 地方自治法237条で無償貸与を制限しているが。

**答** 県等に問い合わせ、法律を精査し正しい方法で実施できるようにする。



政権交代により継続が心配される野久保線事業

# 人事

副町長の選任

吉田 勝美 氏 (再任)

昭和22年3月生

毛呂山町苦林

監査委員の選任

菅野 博子 氏

昭和20年4月生

毛呂山町岩井

(議会選出)

固定資産評価審査委員の選任

荏原 茂 氏

昭和23年8月生

毛呂山町川角

中村 芳樹 氏

昭和28年7月生

毛呂山町毛呂本郷

人権擁護委員

初野 誠治 氏

昭和19年6月生

毛呂山町滝ノ入



## 議会の動き

- 7月20日 第65号議会だより発行
- 7月21日 議会運営委員会  
第3回(7月)議会臨時会
- 29日 埼玉県町村議会議長会決算審査  
(自治会館)
- 8月6日 埼玉県町村議会議長会視察研修  
7日 (新潟県)
- 20日 広域静苑組合議会定例会
- 21日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
- 24日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 9月1日 第3回(9月)議会定例会
- 9月24日 全員協議会
- 9月11日 全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 30日 西入間広域消防組合議会定例会
- 10月16日 埼玉県町村議会議長会議員研修会  
(コピスみよし)

次回定例会は12月です。

# 全員協議会

◎9月1日

高倉クリーンセンター次期更新施設稼動目標年度について

川角リサイクルプラザ周辺対策事業コミュニケーション施設土地購入について

各一部事務組合での定例会及び代表者会議の内容報告について

◎議員研修会について  
10月16日(コピスみよし) 埼玉県町村議会議長会

### 7月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
7月21日(火)	1

### 9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
9月1日(火)	0
7日(月)	9
8日(火)	14
9日(水)	15
10日(木)	9
11日(金)	1
24日(木)	2

## 傍聴席



議会だより編集委員

10月28日(東公民館) 入間郡町村議会議長会  
◎9月11日 議会選出監査委員の推薦について



あどがき

暑い夏が終り、秋桜が風にゆれる頃となりました。

第45回衆議院選挙で国民は、政権交代を選択しました。1929年世界大恐慌から百年來の大不況が押し寄せ、二重苦、三重苦とも言われる生活環境の改善を投票用紙に託した現われでもあります。

毛呂山町議会も、9月議会において議長・副議長の改選、各委員会構成等が変わりました。

この議会だより編集委員会も新しくなり「議会が見えるような紙面づくり」を心がけ、毛呂山町議会の動きをお伝えしたいと思えます。

井上 健次

### 編集委員

委員長 井上 健次  
副委員長 宮寺 征二  
委員 藤岡 健司  
下田 一甫  
岡野 勉  
川上 伸子

アドバイザー  
(議長) 栗田 秀彦